



昨年2019年7月にIHIグループの原動機事業の経営資源を集約し、IHI原動機が誕生しました。脱CO₂・循環型社会に向けて、新たな時代に羽ばたく事業体を目指して融合を進めています。陸用原動機に関する事業では航空機転用型ガスタービンからディーゼルエンジン、ガスエンジン、デュアルフューエルエンジン、小型ガスタービンに至る分散型エネルギー利用向け原動機製品の一貫した運営体制を構築するとともに、船用原動機に関する事業における大型から小型に至る船用原動機、Z形推進装置と合わせた、原動機事業全体にわたる効率的な事業運営によって、より一層の社会貢献を図ってまいります。

地球温暖化対策の国際的な枠組みである「パリ協定」の発効後、地球規模での気候変動への対策の動きが加速しています。「世界の平均気温上昇を産業革命前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃までに抑える努力をする」事や、温室効果ガス排出と吸収のネットゼロを目指す事が謳われ、脱炭素化への方向性が決定づけられました。各国の「化石燃料依存型」から、「低炭素推進型」への変革が想定以上の速さで加速しています。脱炭素に向けた企業活動への要望や、再エネや分散電源の普及に伴い、地域・産業におけるエネルギー安定供給のためのVPP、DR等のエネルギーマネージメントへの期待が高まってきています。

そうした環境と経済の相互関係がますます深まり、かつ多様化してきている中で、環境というキーワードが様々な業種で事業運営の重点事項として認識されるようになってきています。

当社でもIHI資源・エネルギー・環境事業領域の重点施策の一つである「脱CO₂・循環型社会に向けた新たな価値を創成」を受け、「脱CO₂・循環型社会実現に向けた事業モデルの変革への取組」を重点施策として戦略的な研究開発・新事業の推進、及

びICTを活用したライフサイクル視点でのビジネスモデルを創生することに取り組んでいます。現在は、厳しい環境下ではありますが、『次の20年、30年に向け、社会とともに持続的に成長する事業基盤の構築』への取り組みを推移していきます。

多様化・複雑化する世界情勢、経済情勢、と海運・エネルギー情勢の大きな変化の中で、動力・エネルギーに関わる我々の事業の基軸は、次の3つであると考えています。

- ①環境対応:省エネ・脱炭素化技術の実用化・普及、インフラとしての強靱化
- ②システムインテグレーション:遠隔監視・診断・運転、自律運転、効率運用支援などによるお客様のO&M支援
- ③ライフサイクル、ソリューション:IHIグループの総合力を活かした、ライフサイクルを通した新たなお客様価値の創造

いずれも、IHI資源・エネルギー・環境事業領域・IHIグループの基盤を共有し、IHI原動機が、積極的にお客様や社会に貢献できる領域です。

“無駄をなくし(リーン)、柔軟に対応して(フレキシブル)、早く活動を回して(アジャイル) 自ら「変わる」” を合言葉に、力を合わせて業務改善・改革を進めてまいります。

事業活動の全てにおいて「全員参加」「社員一人ひとりが主役」「経営資源の投入」を通じて継続的に事業パフォーマンスの向上を図るとともに、法令を順守し、お客様、お取引先、地域社会からの要請に応じて信頼される会社を目指します。

2020年も継続して環境報告書を発刊し、IHI原動機の社会・環境に対する活動を報告します。今後とも弊社の活動に対しまして、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

株式会社IHI原動機
代表取締役社長 矢矧 浩二